

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立 楠小 学校

校長 國富 朋子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

楠小学校は、四日市版コミュニティスクールの指定を受け11年目となりました。学校教育目標「豊かな人間性を育み、明るくたくましく生きる子を育てる」を実現するため、学校をサポートいただいている保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、学校教育のさらなる充実を図ることをねらいとしています。今年度も地域の方々が先生となる教育活動「一日先生」を行い、学校・家庭・地域の連携をより深めていけるように、取り組みを進めました。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）教育活動の実践事例

1年生は、保護者の方をゲストティーチャーとしてお迎えし、外国の文化と日本の文化の違いについて教えていただきました。

2年生は、地区たんけんとして、楠小校区の全地域を訪ね、楠地区福祉会館や公園、交流会館、楠郵便局など地域に関係深い場所に出かけて話を聞き、自分たちの身近なあそび場について知ることができました。



3年生は、6月にウミガメネットワークの方を講師として招いてウミガメの学習に取り組み、数少ないアカウミガメの産卵地として大切な吉崎海岸の環境を守っていくために自分たちにできることについて考え合いました。

また、鯨船行事やみこし祭りについて学習しました。地域の方に行事の歴史や、山車について教えていただき楠町の歴史について学ぶことができました。

4年生は、地域の方から防災について学びました。楠地区の防災の取り組みや、避難の仕方について地域の方から教えていただきました。

5年生は、地域にある紡績工場に見学し、実際に製品ができあがる工程を見聞きする中で、より良質な製品を製造するための工場側の工夫に気付いたり、工場で働く人々の思いや願いに触れたりすることができました。また、自分たちが住む地域にこのような工場があることを再確認することを通して、地域に対する思



いを深めることができました。

6年生は、年間を通して人権学習に取り組みました。噂やデマについて学習した内容を、人権フォーラムで発信し、小中学校で課題を共有することができました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

例年、運営協議会開催の際には、授業参観を実施し、日常的な授業の様子を参観していただいています。今年度も参観していただくことができました。その中で、学校が日常的に行っている子供を中心に据えた学びの保障について理解していただくことができました。

「一日先生」では、各スポーツ少年団や楠子連、消防団、地域の習字教室や



モノづくりサークル等の様々な団体の協力を得て活動することができました。文化、スポーツ、体験、ものづくり等、22種類の教室を開設し、その中から希望をとって2種類経験できるという活動です。運営協議会の方々には、保護者対象の教室も併せた活動全体をコーディネートしていただきました。

自由参加にも関わらず大勢の児童が参加し、大変好評でした。PTAの方々にも子どもの移動に際して安全を見守っていただき、大人対象の教室運営もお手伝いいただきました。

3 今後に向けて

今年度も、地域学習や保護者への公開を実施し、「地域と共に作る学校」としての教育活動を推進できました。今後も、地域と共に子どもたちの自尊感情の育成や地域を愛する心情の育成を図っていきます。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 楠 小学校

委員長 田中 由紀子

校 長 國富 朋子

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会（9日）	・授業参観 ・今年度活動計画等について ・今年度学校づくりビジョンについて
6	第2回運営協議会（18日）	・授業参観 ・これからの教育活動について
7		
8		
9		
10	第3回運営協議会（29日）	・授業参観 ・「一日先生」について
11	第4回運営協議会（30日）	・「一日先生」（地域活動事業）
12		
1		
2	第5回運営協議会（20日）	・授業参観 ・「一日先生」の反省 ・学校アンケートの結果について ・運営協議会年間総括
3		